

2025_0520「シャクナゲの花（写真）」日々の理科 3939号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北軽井沢ではよくシャクナゲ（石楠花）を見かけます。この土地の気候・土壌でよく生育するので、別荘の庭先、飲食店、宿泊施設などの庭によく植えられているのです。私の山荘の庭にも一塊のシャクナゲがあります。嬬恋村の浅間山中腹にある「シャクナゲ園」で間引きされた株を、単に庭に「置いておいただけ」でよく根付き、植えた時の5倍ぐらいまで育っています。

山荘庭のシャクナゲはまだ1個も咲いていませんが、私の行きつけのレストラン庭のシャクナゲはすでに五分咲きぐらいになっていました。シャクナゲは高原に初夏を告げる花ですが、早朝にはまだ5℃近くまで気温が下がる日もあり、7月上旬までは朝晩にはストーブが活躍します。

(2025年5月中旬／北軽井沢)

